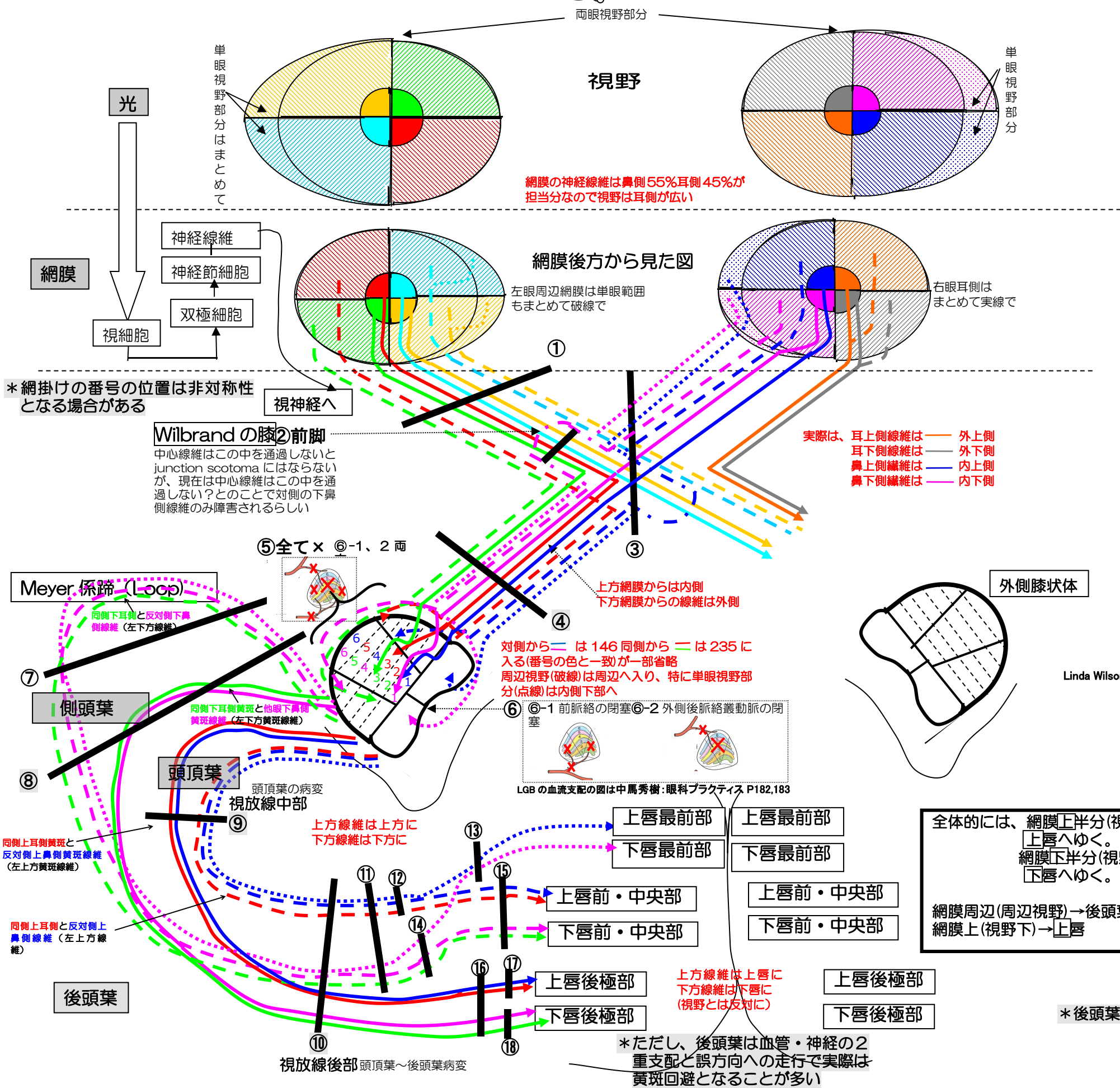


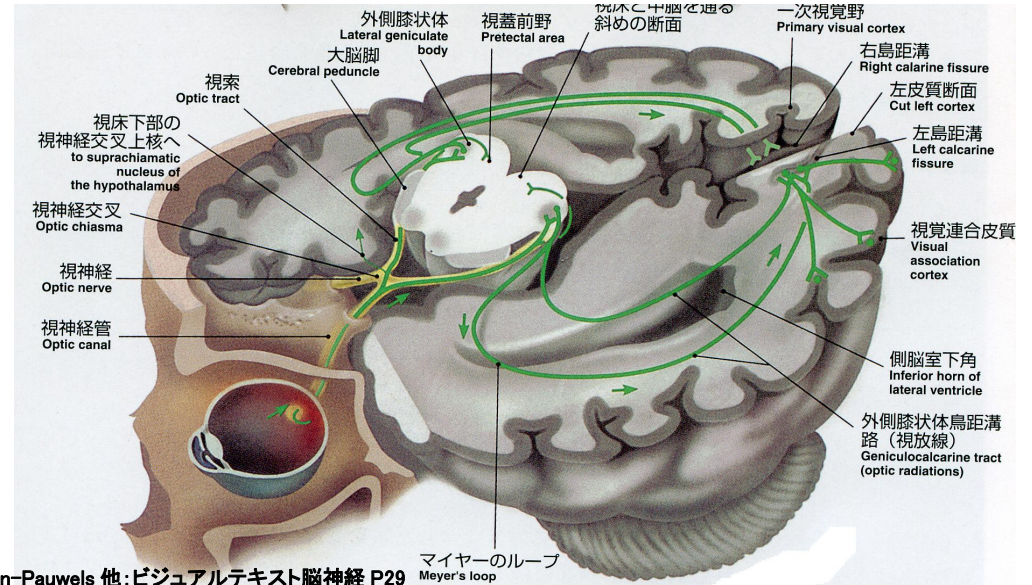
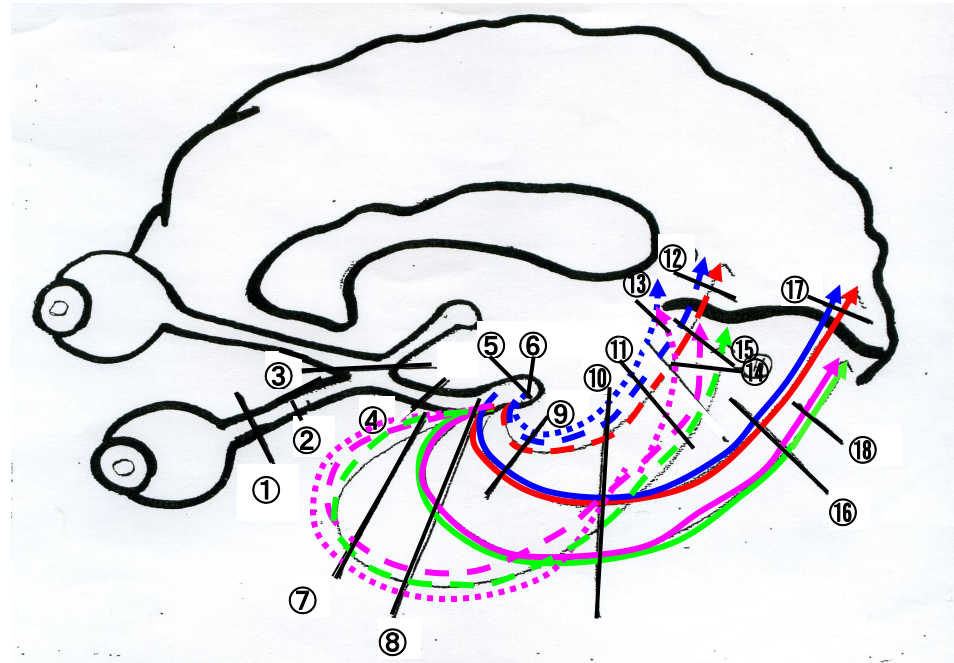
# 視路障害位置と視野障害



\*ただしかなり模式図であり、少し参考書と違う場合あり。



## 横から見た図



Linda Wilson-Pauwels 他: デジタルテキスト脳神経 P29

視放線の内側の線維は、同側の上方網膜から投射され、側脳室 (三角から後角) の外側 (頭頂葉) を通り、鳥距溝上部に終わる。外側の線維は、同側の下方網膜から投射され、側脳室 (下角) を上から下にとりまきながら Meyer 係蹄を形成して鳥距溝下部に終わる。

## まとめ

全体的には、網膜上半分 (視野では下部) より出た線維は視路の上部を通り、視索・視放線で内(上)側を通り、上唇へゆく。ウ・ウ・ウと憶える

網膜下半分 (視野では上部) より出た線維は視路の下部を通り、視索・視放線の外(下)側を通り、下唇へゆく。

網膜周辺 (周辺視野) → 後頭葉の前・中央部

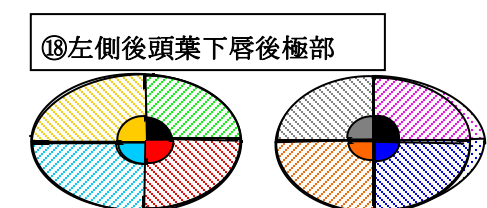
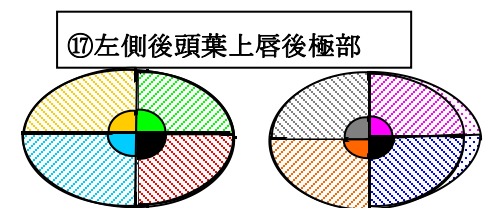
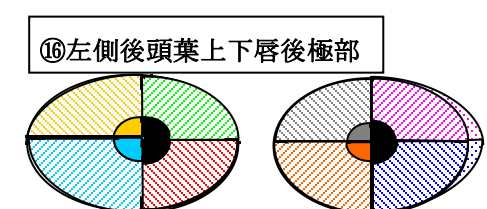
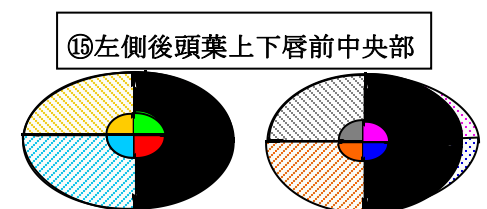
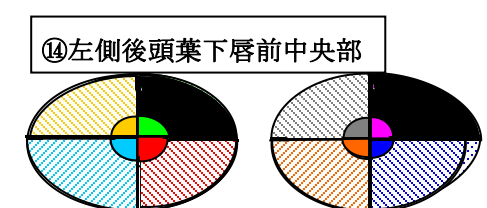
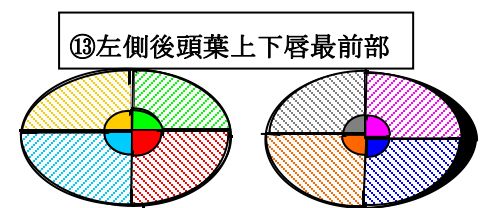
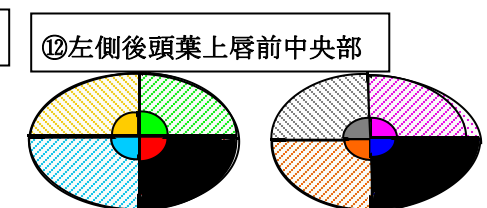
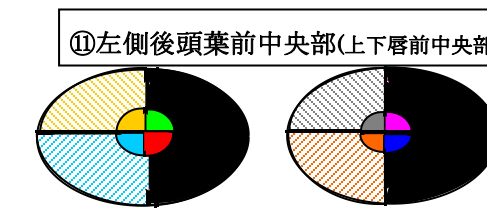
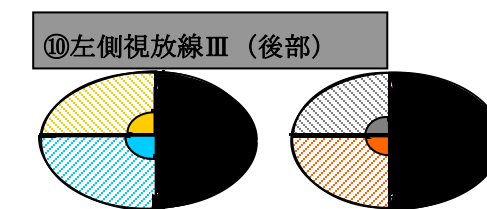
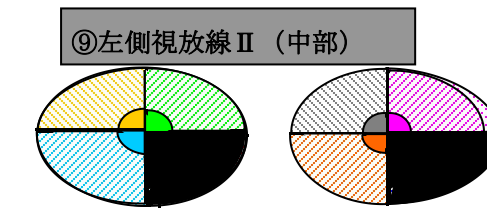
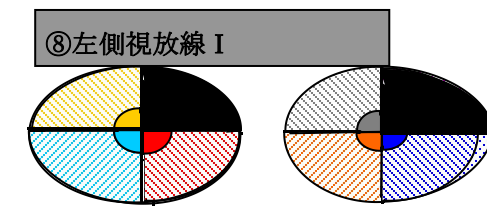
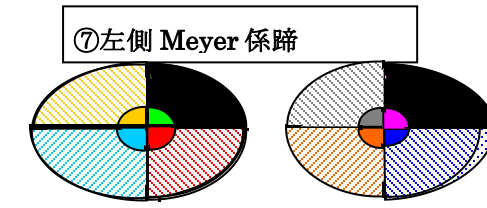
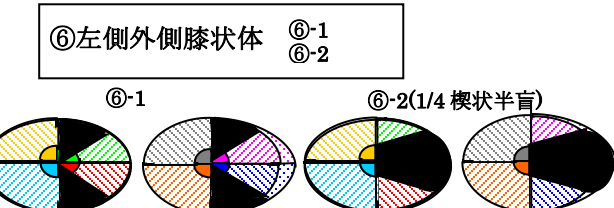
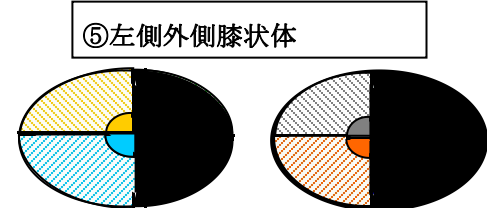
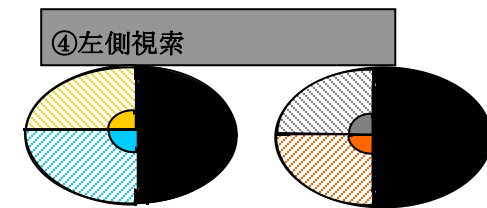
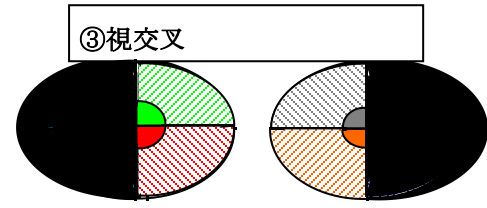
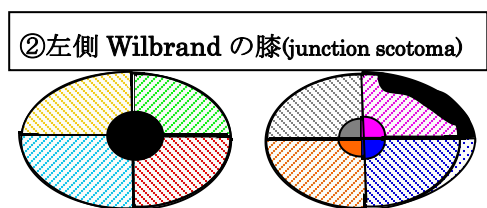
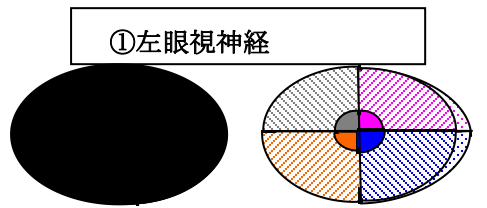
網膜中心 (中心視野) → 後極部

網膜上 (視野下) → 上唇

網膜下 (視野下) → 下唇

\* 後頭葉に行けば行くほど、調和性の完全な同名半盲となる

\* ただし、後頭葉は血管・神経の2重支配と誤方向への走行で実際は黄斑回避となることが多い



\*網掛けの番号の位置は非称性となる場合がある

右側の視路が障害された場合も記入する事。  
ちょっと詳しく過ぎるね!

